

GIGAスクール構想の次なる展開（教育DX）

- 個別最適な学びを実現するため、GIGAスクール構想を前倒し学習ツールの一つとして 1人1台端末等を整備してきたが、ネットワークや指導者端末など残された課題が存在
- 必要な措置を講じた上で、構想を次なるSTEPに進めていく



STEP 1 これまでのGIGAスクール構想の取組

1人1台端末と学校ネットワーク環境等を急ピッチで整備し、令和3年度から本格運用が開始。（合計4,819億円）⇒ 運用を開始すると、様々な課題も顕在化。

課題① ✓運用に地域差がある ✓ネットワーク回線が遅い ✓教師に設定等の負担が集中

課題② ✓指導者端末などが未整備・古い ✓遠隔授業実施環境が不十分

課題③ ✓教科書のデジタル化が進んでいない

STEP 2 支援の加速によるGIGAの実装

（支援① 学校の運用支援、教師のサポート）

- ・学校への支援をワンストップで担う「GIGAスクール運営支援センター」を各都道府県等に緊急整備、全国一斉に学校ネットワークの点検・応急対応の実施が必要

（支援② 教室環境の改善）

- ・子供だけでなく教師にも1人1台端末を整備するとともに、高機能なカメラやマイク、大型提示装置など遠隔授業実施環境の高度化の支援が必要。

（支援③ デジタルコンテンツとしてのデジタル教科書の配信基盤の整備）

- ・全ての小中学校等でデジタル教科書の活用を可能にするとともに、デジタル教科書や連携するデジタル教材等がよりスムーズに活用できるよう、実際の使用状況を踏まえた課題解決や配信方法等の検証の実施が必要

（※教師の指導力）

- ・教職員支援機構における研修動画などを活用したオンライン研修の推進 ・GIGA StuDX推進チームによる指導方法に関するきめ細かな支援と発信
- ・中央教育審議会では教師の養成・採用・研修の在り方について検討中



省庁横断のタスクフォースなどにより
関係省庁と緊密に連携して課題に対応

STEP 3 GIGAの基盤となるネットワークの改善・実装

ネットワークのアクセスメントや、デジタル教科書の実証により、ネットワークのボトルネックなどの課題が可視化されるため、その課題に応じて、事業者による対処等を行い、基盤の改善を目指す

<更に次なる展開へ>

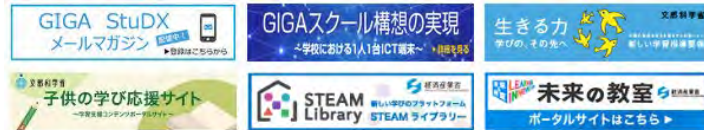


- 実証を踏まえたデジタル教科書の実装 ●全国学力・学習状況調査のCBT化
- 1人1台端末から得られる教育データの利活用 等

スタディーエックス スタイル
「StuDX Style」について

1人1台端末の利活用をスタートさせる全国の教育委員会・学校に対する支援活動を展開するため、「すぐにでも」「どの教科でも」「誰でも」活かせる1人1台端末の活用方法に関する優良事例や本格始動に向けた対応事例などの情報発信・共有を随時行っていきます。

慣れる
つながる
活用



スタディーエックス スタイル
StuDX Style

GIGAスクール構想を浸透させ 学びを豊かに変革していくカタチ

"すぐにでも" "どの教科でも"
"誰でも"活かせる1人1台端末の活用シーン

慣れる
つながる
活用

各教科等
での活用

STEAM教育
等の教科等
横断的な学習

教師と子供が
つながる

子供同士が
つながる

学校と家庭が
つながる

職員同士で
つながる

GIGAに慣れる (文房具や教具として使えるようにする)

民間企業等によるICTの効果的な活用に関する参考資料 (提供元50音順)

iPad活用に関する資料 (提供元 Apple)

Google for Education
活用に関する資料 (提供元 Google for Education)

Microsoft Education
活用に関する資料 (提供元 日本マイクロソフト株式会社)

GIGAに慣れる



各教科等
での活用



スタディーエックス スタイル
StuDX Style

GIGAスクール構想を浸透させ 学びを豊かに変革していくカタチ

各教科等における
1人1台端末の活用

慣れる
つながる
活用

各教科等
での活用

STEAM教育
等の教科等
横断的な学習

概要資料

小学校

国語

社会

算数

理科

生活

音楽

図画工作

家庭

体育

外国語活動
外国語

特別の教科
道徳

総合的な
学習の時間

特別活動

中学校

国語

社会

数学

理科

StuDX Style (慣れるつながる活用) :
<https://www.mext.go.jp/studxstyle/index.html>



StuDX Style (各教科等での活用) :
<https://www.mext.go.jp/studxstyle/index2.html>



"すぐにでも" "どの教科でも" "誰でも"活かせる1人1台端末の活用シーン（例）

StuDX Styleに掲載されている事例から考えられる、学校や家庭における1人1台端末を活用した1日の流れの一例

